

角田市農業青年会 インボイス制度研修会を開催

12月2日（金）、角田市農業青年申告会と角田地域担い手育成総合支援協議会との共催で角田市農業者を対象に、インボイス制度研修会を開催しました。

研修会には、46名と大変多くの方が出席され、インボイス制度に対しての関心の高さが伺えました。

仙台三井信一税理士事務所から三井信一税理士をお招きし、研修を行いました。三井先生は、宮城県では数少ない農業に詳しい税理士です。

研修会では、消費税の計算方法、インボイス制度の概要、農業者の留意点、経過措置と今後の対応について、複雑な内容ですがとてもわかりやすく説明して頂きました。

長時間の研修でしたが、出席者は、自身の経営に当てはめて質問するなど、熱心に受講されていました。



インボイス制度研修会の様子

黒須貫市長と語る 角田市農業経営者会議 農政懇談会を開催

角田市農業経営者会議（森谷茂会長・会員47名）は、12月2日（金）「仙南シンケンフアクトリー・セミナールーム」において角田地域担い手育成総合支援協議会との共催事業として黒須角田市長をお招きし、角田市の農政問題などについての「農政懇談会」を開催しました。

この懇談会は、当会の事業活動の一環として開催しているもので、会員及び認定農業者の皆さんと角田市から黒須市長のほか堀米

農林振興課長、渡部補佐、菅原係長、菊地係長にも出席いただきました。

森谷会長、黒須市長の挨拶後、森谷会長が座長となり、角田市の今後の農政、担い手の確保と育成、現状に対する支援策について意見交換が行われました。

市からは、地域での話し合いにより人・農地プランを作成してきましたが、法改正により地権者、耕作者の合意を踏まえた上で農地利用の姿を面的に集約した地図を作成の上、農地利用の姿を明確化した地域計画の策定が必要となつたので、人・農地プランの話し合いの場などを活用し進めていきたい旨の話があったほか、効率的な農地集約による企業の経営を推進していくことや担い手確保については親元就農、新規就農に対しては市独自の助成制度を設けているので相談、活用を検討していただきたい等の説明もありました。

さらに、農業資材及び飼料等に対しては、施設園芸燃油価格及び畜産業飼料価格への高騰対策支援事業により農業者への直接的な支援を行い、農業経営の安定と次期



農政懇談会の様子

作支援に寄与するよう努めていきたいとの説明もありました。

その後、参加者より獣害対策に対する助成制度や休耕田の畑地化対策、担い手のいない地域の育成対策等についての質問もあり、活発な意見交換がなされ、懇談会が終了しました。

懇談会終了後、会場を移し黒須市長を交えての懇親会が行われ、前半に引き続き、活発な意見交換が行われました。

農業振興公社だより

飛躍の年に！



理事長 黒須 貫

明けましておめでとうございませ。今年卯年で向上、成長の年。会員の皆様の営みがあります向上していきますように願います。

新型コロナウイルス感染が治まらない中、昨年2月、ロシアがウクライナを侵略し、世界情勢が非常に不安定になりました。小麦を主とした食料価格、燃料や資材などが軒並み高騰。更に円安が拍車をかけ、私たちの暮らしを直撃しています。また、3月16日に発生した福島県沖地震で家屋等を被災された方も多く、災害累積の感が否めません。皆様も大変ご苦労を

され、出口の見えない状況に不安をお持ちのことと思います。

一方、気候変動によると思われる災害等が各所で発生する中、当地はかろうじて被害を免れ、稲作、園芸、果樹とも大過無く、昨年凍霜害を受けたナシやリンゴは豊作となり安堵しました。畜産では馬場の昭光茂号が基幹種雄牛に認定され、快挙となり、これからの肥育牛の振興に大きく期待するところです。



基幹種雄牛：昭光茂

明暗縄の如き状況ではありませんが、人々の命の源である食糧を生産することは必要不可欠な生業であることは変わりありません。誇りを持って進んで参りたいと思います。

発行

公益社団法人 角田市農業振興公社
〒981-1505 宮城県角田市角田字大坊41
電話 (0224) 63-2328 FAX (0224) 61-1501
URL <http://www.kakunou.or.jp/> E-mail kakuda@kakunou.or.jp

昨年4月から「角田市第6次長期総合計画」が始動しました。重点プロジェクトの一つに「地域資源フル活用」を掲げ、改めて角田市の基幹産業として農業が位置付けられ、基本計画が示されており、公社も共に歩むことになりました。

公社の大切な目的である「農業の後継者育成」についてですが、昨年1月から「農業の振興に関する活動」を行う地域おこし協力隊を1名受け入れておられます。現在ナシ園の再生に取り組みんでいただいております。また、大変頼もしい限りです。角田市農業経営者会議」主催の「若



地域おこし協力隊：吉川隊員

者会議」「農政懇談会」を開催いただき、若い担い手の連携、行政との意見交換、相互の懇親などを行なっています。市としても国、県、独自の策も用意して、支援をします。

また、昨年6月、角田市は「ゼロカーボンシティ宣言」をいたしました。国は気候変動対策を含めた持続可能な農業政策「緑の食糧システム戦略」を進めています。本市では長年農畜連携の資源循環型農業が進められており、国の施策を先取りして来たと言えます。世界に目を転じれば食糧危機が深刻になりつつあります。農業を取り巻く情勢は劇的に変化しています。正に虫の目と鳥の目をもちながら、強かに前向きに進んで参りたいと思います。会員の皆様にはぜひ共に歩んでいただきたい、お願い申し上げます。

結びに、皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。

あぶくま農学校農業体験学習「秋」各団体で稲刈り

下目黒小学校・枝野小学校

枝野小学校では、10月1日(土)全校児童48名と東京都目黒区下目黒小学校児童15名による「あぶくま農学校」稲刈り体験交流が行われました。

小学校の統合を控え、本年度が枝野小学校としての最後となることもあり、合同での稲刈り体験ができたことは大変有意義でした。

学習田において「稲刈りはじめの会」を開催し、黒須市長(あぶくま農学校校長)の挨拶後、農協青年部による稲刈り指導があり、3年ぶりとなる合同での稲刈りが始まりしました。

当日は、天候にも恵まれ、両小学校の児童たちは楽しそうに言葉交わしながら交流し、稲刈り終了後は枝野小学校校庭で閉校の記念誌に掲載する人文字撮影にも両校全員で参加しました。その後枝野小学校児童は教室にて担任から、下目黒小学校児童は体育館にて黒須市長から「あぶくま農学校修了証書」が授与されました。



枝野・下目黒の稲刈り体験の様子

下目黒小学校授与代表児童談「今日は今年一番楽しかったかも・・・」

宿泊は、角田市婦人研修センターを利用、夜は宿泊先近くの民家の庭を借りてバーベキューや花火大会も行われ、両実行委員会の皆さんも参加し、思い出に残る楽しい交流となりました。

翌日、下目黒の方々は、田んぼアートややぶさまつりを訪れたほか、道の駅で買い物を楽しんで角田を後にしました。

目黒区立月光原小学校

月光原小学校児童10名、引率4名の皆さんが10月8日(土)に稲刈り体験を「西根地区田んぼアート」の圃場で西根地区交流実行委員会の皆さんの指導により行われました。

月光原小学校児童にとっても3年ぶりとなる角田市での農業体験となり、前日の雨による水の残る圃場にも関わらず楽しそうに手刈りをし、棒掛けも体験しました。稲刈り体験終了後、記念撮影を行い、永井角田市教育長(あぶくま農学校副校長)から「稲刈り体験証明書」を授与していただき、稲刈りが終了しました。

その後、田んぼ所有者の菊地様宅にて夕食・交流会(バーベキュー)が開催され、都会では味わえない雰囲気を楽しんだ後、ホームステイ宅と西根3区公民館に分かれて宿泊。それぞれが楽しい角田の思い出を作っていました。

二日目は、山元町にある震災遺構の「中浜小学校」などを見学。来年も田植え、稲刈りの体験交流ができることを楽しみに、角田を後にしました。



月光原小の稲刈り体験の様子

北郷小学校

北郷小学校では10月6日(木)5年生児童31名による稲刈り体験が開催されました。

学習田において「はじめの会」が児童の進行により開催され農協青年部の稲刈り指導後に二班に分かれて手刈りによる稲刈りが始まり、1時間ほどで予定していた面積の刈取りが終了しました。

刈取り終了後、コンバインによる脱穀と一部はせ掛けを行い、記念撮影後、学校に戻り、校庭であぶくま農学校修了証書授与式が行われ、永井角田市教育長(あぶくま農学校校長)が授与されました。



北郷小の稲刈り体験の様子

ま農学校副校長)からの「終了証書」授与の後、児童からの感想発表があり、今年の農業体験を終りました。

目黒・角田絆交流

目黒・角田絆交流も他地区と同様に3年ぶりの稲刈り体験を10月1日(土)に森谷氏の圃場にて緑ヶ丘小学校関係者34名の参加により行われました。

農協青年部・面川北郷支部長の挨拶後、注意事項の説明があり稲刈り体験が始まりました。当日は、天候にも恵まれ皆さん元氣よく、楽しそうに秋の収穫を満喫していました。



目黒・角田絆交流の稲刈り体験の様子

稲刈り終了後、黒須市長(あぶくま農学校校長)から稲刈り体験証明書を授与し、「絆交流事業」の稲刈り体験が終了しました。

次の日に、乾燥・脱穀の方法も見学しました。

第2回理事会、第3回理事会を開催

令和4年9月6日(火)に令和4年度第2回理事会を開催しました。公社の就業規程及び会計規程の一部変更並びに顧問の委嘱についての3件の議案を審議いただき、採決の結果全員一致で3議案とも承認されました。

令和4年12月7日(水)に令和4年度第3回理事会を開催しまし

公社顧問に荒川隆氏、大友喜助氏再任、委嘱状を交付

令和4年9月6日(火)開催の理事会において、当公社の顧問である荒川隆氏、大友喜助氏の再任が承認されましたので、荒川氏が角田においてになった12月8日(木)黒須理事長から委嘱状を交付しました。

任期は令和6年10月28日まで2年間となります。



第4回理事会の様子

た。公社の就業規程及び給与規程の一部変更の2件の議案を審議いただき、採決の結果全員一致で2議案とも承認されました。

角田市農業青色申告会 農業簿記操作手順説明会の開催

12月16日(金)、角田市農業青色申告会では、会員を対象に、農業簿記ソフト操作手順説明会を開催しました。

説明会には、午前午後併せて15名の会員が参加されました。

講師にJ Aみやぎ仙南営農企画課の渡邊睦子補佐をお招きし、説明を行いました。

説明会では、1年間の入力作業の流れや気を付けるべきこと等1年に1度の作業で忘れがちな知識を分かりやすく説明していただきました。

これから申告に向けて入力作業をしていく会員にとってとても有意義な説明会になったと思います。



農業簿記操作手順説明会の様子